

病院キャラクター「カリヨンの樹」に住むロボットたち

埼玉県立小児医療センターだより

小児医療センターの取組

事務局長 濱田 賢治



当センターが地方独立行政法人に移行し5年目を迎えました。

第1期中期計画の最終年となる本年は、計画の総仕上げとともに、来年度から始まる次期計画の策定に向けた様々な取組の検証を行っているところです。

取組に違いはあれど、共通しているのは「患者さんのために」という思いです。今回は、中期計画では取り上げられないものの、こうした思いから実施している取組の一部についてご報告いたします。

● LINE を使用したお知らせサービス

外来診察の順番をお知らせするため、令和5年10月に、患者さんやご家族がお持ちのスマートフォンのLINEアプリを通じメッセージを送付するサービスに切り替えました。メッセージが院外でも通知されるため、患者さんは待ち時間を院内ではなく外出先で過ごすことができるようになりました。今後は会計時の順番待ちのお知らせもできるよう機能を拡充する予定です。

待ち時間によるストレスを少しでも軽減し、サービスの向上に繋げてまいります。

● みんなでバザー

関係団体の皆様と出展販売を行う「みんなでバザー 2024」を昨年10月に開催しました。バザーの収益は、患者さんやご家族のために使わせていただいております。本年も10月14日に実施予定で、職員のみならずボランティアや関係団体の皆様と準備を進めてまいりました。例年、各団体の皆様が工夫をこらし、バラエティに富んだ品々を販売されております。

このほかにも、セラピードッグの病棟訪問など、難しい病気等で当センターを利用する子どもたちを応援する取組を今後も続けてまいります。

地域医療機関をはじめ関係機関の皆様のご指導、ご協力をいただきながら、本県の小児医療の最後の砦として、高度専門医療の提供に努めてまいります。引き続き、当センターに対するご理解とご支援をお願い申し上げます。



みんなでバザー 2024の様子

埼玉県立小児医療センターだより 第33号 ご案内

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ○ 診療部門紹介 新生児科……………2 | ○ コ・メディカル部門紹介 薬剤部……………5 |
| ○ 診療部門紹介 移植センター／移植外科……………3 | ○ セミナーのご案内……………6 |
| ○ 看護部門紹介 外来部門……………4 | ○ 医療機関の皆様へ 受診のご案内……………6 |

診療部門紹介

総合周産期母子医療センター 新生児科

科長 ^{しみず} 清水 ^{まさき} 正樹

総合周産期母子医療センターは、小児専門病院である埼玉県立小児医療センター新生児科と、県内有数の総合病院であるさいたま赤十字病院産婦人科・小児科との共同で運用されており、新生児集中治療室（NICU）への年間総入院数は700症例を超えています。あらゆるハイリスク新生児、ハイリスク母体・胎児に対応できる、大規模で高度な新生児医療の提供を目的とする総合周産期母子医療センターです。



小児専門病院としての特性を生かし、未熟児や新生児の小児内科系疾患・小児外科系疾患に幅広く対応しています。関連診療科との連携のもと診断、治療を行い、新生児低体温療法、一酸化窒素呼吸療法、持続的血液濾過透析（CHDF）、体外式膜型人工肺（ECMO）などを24時間体制で実施できる環境を整えています。



胎児診断：先天性心疾患や先天性外科系疾患に対する胎児診断を行っており、胎児期から出生、その後の新生児期治療まで継続的な医療提供が可能です。

県内唯一の新生児搬送ドクターカーで重症新生児のお迎え搬送を24時間体制で行っています。



Facebook

埼玉県立小児 Nicu

Instagram

saitamanicu



診療部門紹介



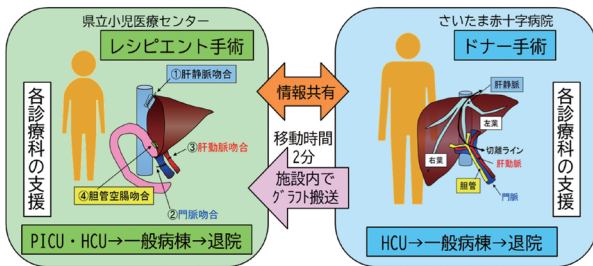
移植センター/移植外科

センター長・科長 **水田 耕一** みずた こういち

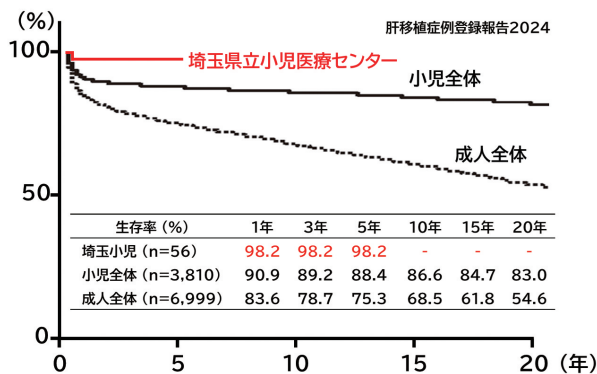
1. 診療内容

移植センターは2019年度(令和元年度)に新設され、さいたま赤十字病院と連携して末期肝障害のお子さんに肝移植医療を提供しています。ドナー手術はさいたま赤十字病院が、お子さんのレシピエント手術と術後管理は当センターが担当し、多職種の協働により、安全性に十分配慮し丁寧かつ持続可能な治療の実現に努めています。

国内初の隣接2施設一体型の臓器移植治療



日本の生体肝移植における患者生存率



4. 臓器提供に関する当センターの取組

当センターは、厚生労働省の「臓器提供施設連携体制構築事業」において、全国17施設の移植医療支援室型拠点病院の一つとして選定されています。この事業は臓器提供に関する経験を有する拠点施設が、経験の少ない連携施設を支援し、地域全体で体制を整備するものです。小児専門病院として、埼玉県内外の施設と協力し、臓器提供の意志を、移植医療へ確実につなげる取組を進めています。

2. 移植センターのあゆみ

2016年12月	さいたま新都心へ移転
2019年4月	さいたま新都心医療拠点移植センター・移植外科開設
2019年9月	小児生体肝移植を開始
2021年5月	緊急生体肝移植を実施
2022年11月	移植患者会が発足
2023年1月	腹腔鏡下ドナー手術を導入
2025年1月	生体肝移植50例に到達

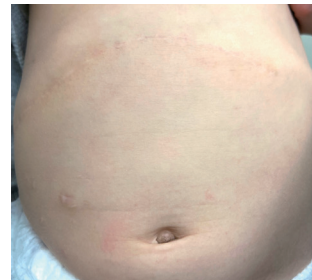
3. 移植センターの特長

2019年以降、累積生体肝移植件数は56例に達し、患者生存率・グラフト生存率ともに98%を維持しています。(当センターデータ)

2023年からはドナーに腹腔鏡下手術を導入し、レシピエントには将来を見据えて、創を小さく目立たないよう配慮した手術を行っています。

今後も、子どもたちとご家族にご満足いただけるよう、適切にリスク管理を行い、より良い移植医療に取り組んでまいります。

1歳女児、急性肝不全



1歳男児、胆道閉鎖症



当センターにおける生体肝移植後患者の手術創

5. スタッフ紹介

センター長/移植外科科長	水田 耕一
副センター長/外傷診療科科長	荒木 尚
移植外科医長	山田 直也
移植外科医員	納屋 樹
移植外科応援医師	井原 欣幸
移植コーディネーター	田村 恵美



看護部門紹介 外来部門



主幹 まつなが さちこ
松永 幸子

当センターの外来は内科系 11 科、外科系 13 科、発達外来や予防接種外来などの保健発達部門 4 科があります。紹介予約制になっており、一日平均 600 ～ 800 人ほどの患者さんが受診しています。

外来の各フロアの紹介です。1 階から 3 階が外来です。1 階は主に検査エリアで、CT、MRI、RI、リニアック、心エコーや脳波検査等、診断に必要な検査を行います。眠らなくてはできない検査も多く、その場合は入眠室を使用します。検査中動かずにいることが難しい患者さんが、眠る薬を使用し、より安全に眠りやすい環境を整える場所となっています。他に TV 室や内視鏡室等があります。2 階では診療と治療を行っています。計測や採血、各診療科の診察、レーザー治療等様々な外来診療を行っています。中央処置室には点滴治療や外来処置を行う 6 床のベッドがあります。3 階は保健発達部門と整形外科外来です。

看護部では病棟外来一体化を図り、病棟の看護師が外来業務も担っています。入院予定の病棟の看護師や、入院中に受け持ちをしていた顔見知りの病棟看護師が外来を担当することで、入院前の準備や不安点、退院後の生活での疑問や困っていること等、安心して相談できます。入院前～退院後まで継続した看護の提供を目指しています。

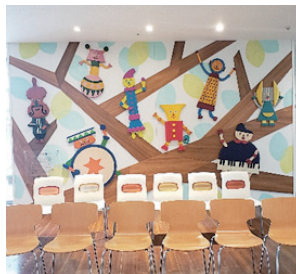
外来では、令和 5 年度より、呼出し専用機ではなくお手持ちのスマートフォンの LINE アプリを通じメッセージを送付するサービスに変更し、診察までの待ち時間を有効利用できるようになりました。また、令和 6 年度より、計測の待ち時間短縮に向けた取組として、一定の条件を満たしている患者さんの自己計測を導入しました。今後も、外来環境の改善に取り組んでまいります。

外来の様子



1 階 入眠室

CT や MRI、心エコー、脳波など、動かず静かにしていないとできない検査があります。患者さんによっては、眠って行うことがあり、入眠室で眠っていただき検査します。



外来ロビー

2 階西側のロビーには、ドラム・チョ、モッキー、ピアノン、シンバルーン、チェロキー、マラッカ、ラッパツパ、フェール の 8 人のお友達が壁絵にいます。頑張っているお子さまたちを優しく見守っています。

自己計測エリア

待ち時間短縮のため、自己計測できる方は自己計測エリアにご案内しています。自動の身長体重計・自動血圧計を受付 28 と受付 29 の間の中待合に設置しています。



外来では患者さんの頑張る力を応援しています。ご家族の方にもご協力いただくことも多いです。一緒に頑張りましょう。



コ・メディカル部門紹介

薬 剤 部



副部長 ^{しまざき} 嶋崎 ^{ゆきなり} 幸也

チーム医療の中で、子どもたちの未来を支える くすりの専門家

小児医療ならではの「難しさ」と「やりがい」

小児医療では、子どもの年齢や体重、臓器の発達段階に応じて、成人とはまったく異なる「きめ細やかな薬物療法の支援」が求められます。

そのため、複雑な調剤方法が必要になることもあれば、小児適応のない医薬品を安全に使用するための情報収集・提供が不可欠となることもあります。

小児の薬物療法は、必ずしも明確な答えがあるとは限らず、日々の判断に悩む場面も少なくありません。それでも私たち薬剤部は、子どもたちにとって安全で効果的な薬物治療が提供できるよう、医師や看護師と密に連携し、チーム医療の実現に努めています。

薬剤師の業務は多岐にわたりますが、機械化やタスクシフトを進める中でも、「私たちにしかできない仕事」を見極め子どもたちの未来のために尽力することに誇りを持っています。



錠剤を**粉碎**しています



散薬の最終確認をしています



新しく導入した自動分包機です



安全性を優先した無菌調製

中心静脈栄養（TPN）や抗がん剤などの高リスク製剤専用のクリーンルームを備え、クリーンベンチや安全キャビネット内で無菌的に調製しています。

この様子は当センター公式 YouTube チャンネルで公開しています。

ぜひ、ご覧ください。

非常に複雑かつ高度な無菌操作の様子をご覧ください。



ただ、りよう、ま
正しい量を混ぜていきます



スタッフ紹介

現在、薬剤師 36 名が在籍しています。

小児薬物療法認定薬剤師をはじめとする認定薬剤師も多数在籍しており、小児領域の専門性向上を目指して、日々研鑽を重ねています。

小児医療を志望する薬学生を支援するために、病院実務実習の受入れや、薬学生を対象としたインターンシップも開催しています。

全国に 14 施設しかない小児専門病院であることから、職員は埼玉県内の出身者だけでなく、首都圏以外の各地域から集まっています。

どなたでもご参加可能なセミナー

お知らせ

医療関係者向けのセミナー

埼玉県立小児医療センター

第36回てんかん教室

内 容 てんかん教室は皆様にてんかんという病気の理解、てんかん患者に対する正しい対応の理解が得られることを目的としています。
今回のテーマは「てんかんの基礎知識」と「てんかん発作時の対応」です。
当センター神経科の医師がわかりやすく解説いたします。

日 時 令和7年11月8日(土) 10:00～12:00
(10:30を過ぎると入館できません)

場 所 埼玉県立小児医療センター 6階講堂

申 込 み 詳細は右の二次元コードからご確認ください。
お申し込みもこちらからできます。

申込期間 令和7年10月31日(金)まで

<セミナーのご案内>



埼玉県立小児医療センター

第11回地域連携懇談会

「子どもたちの未来を見据えて
小児医療の深化と移行期医療」

内 容 第1部の講演会では循環器科、眼科の取組やビジョンをご紹介しますとともに、小児期発症疾患を持つ患者さんの移行期医療について取り上げます。
第2部の懇談会は今後の地域医療の連携をさらに深めていただく有意義な時間となります。ぜひご参加ください。

日 時 令和8年2月5日(木) 18:30～20:30

場 所 小児医療センター 6階講堂

申 込 み 詳細は右の二次元コードからご確認ください。
お申し込みもこちらからできます。

申込期間 令和8年1月31日(土)まで

<地域連携懇談会のご案内>



皆さまのご参加をお待ちしています！

医療機関の皆様へ 受診のご案内

①患者さん(ご家族)からの予約

紹介元医療機関

紹介状
(診療科が明記されているもの)

患者さん
予約の電話

予約専用電話

初診受付時間 14:00～17:00(土・日・祝日除く)
再診受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日除く)
一 般 外 来 ☎048-601-0489
保健発達部門 ☎048-601-2165

患者さん
来院

受診当日にお持ちいただくもの

- ①マイナンバーカードまたは保険証
- ②医師の紹介状
- ③母子健康手帳
- ④医療券
(公費負担を受けている方)

②医療機関の先生からの予約・お問い合わせ

紹介元医療機関

緊急診療
(当日診療)の場合

- ・当日の受診ではないが
早期診療が必要な場合
- ・該当する診療科が
不明確な場合

電話交換手へ
緊急性があることをお伝えください
(365日 24時間対応可能)

小児医療センター
代表電話

☎ 048-601-2200

電話交換手へ
相談内容をお伝えください
受付時間(9時～17時 土日祝除く)

診療科が明確な場合はその「該当する診療科医師」へおつなぎしますので、ご相談ください

休日・夜間帯又は、診療科が不明確な場合は「救急診療科医師」へおつなぎしますのでご相談ください

地域連携・相談支援センター
(地域連携担当)が対応します
現在の症状が分かる診療情報提供書を
FAXでお送りください
調整後、ご連絡します
FAX: 048-601-2237

病院へのアクセス



■公共交通機関をご利用の方

- ・JR 京浜東北線、宇都宮線、高崎線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分
- ・JR 埼京線「北与野駅」から徒歩約6分
- ※歩行者用デッキを点線に沿ってお進みください。

■お車をご利用の方

- ・駐車場は有料になります。
- ・機械式駐車場には車両のサイズの制限があります。
- ※ご利用の時間帯によっては、車両が集中し、入庫まで大変お時間がかかることが予想されます。
- できるだけ、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- (センター敷地内は全面禁煙となっておりますので、ご協力をお願いいたします)



当センターHP

埼玉県マスコット
「コバトン」 & 「さいたまっち」



埼玉県立小児医療センター

〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2
Tel ☎048-601-2200 (代表) Fax ☎048-601-2201
E-mail ☎ scmc@saitama-pho.jp
U R L ☎ https://www.saitama-pho.jp/scm-c/index.html

埼玉県立小児医療センターだより第33号

令和7年(2025年)10月発行
編集・発行 埼玉県立小児医療センター

埼玉県立小児医療センター公式 SNS ぜひ登録ください！

YouTube Instagram X Facebook

